

# サラーム

平和

P.1

・恒久的な停戦の実現を！  
パレスチナの市民による  
パレスチナ人のための復興を！

P.2-7

・15か月の危機下の生活と想い

P.8

・お知らせ



ガザ市や北部に徒歩で戻る人々 (写真: UNOCHA)



60万人と言われる人々が家に戻った (写真: UNOCHA)



ジャバリアでの給水支援 (写真: パレスチナ子どものキャンペーン、以降、出典がない場合は同様)

## 恒久的な停戦の実現を！ パレスチナの市民による パレスチナ人のための復興を！

2025年1月19日、15か月ぶりに、ガザの人たちは爆撃音の聞こえない夜を迎えることができました。イスラエル軍とハマスの間で、人質解放と3月1日までの42日間の戦闘停止、そして人道支援物資の搬入という内容での一時停戦が結ばれ、発効されました。

そして、60万人と言われる人々が、ガザ中部の避難先からガザ市やガザ北部の自分たちの家に徒歩で戻りました。そこで人々は、はじめて自分たちの街や村、そして家が無残な状況になっているのを目の当たりにしたのです。

一時停戦発効後、パレスチナ子どものキャンペーンでは、ガザ中部のほか、ガザ市とガザ北部で、給水活動や物資配布、炊き出しなどを開始しました。現地は想像以上の破壊に苦しんでいます。

現地のニーズに少しでも応えられるよう支援活動を続けてまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。